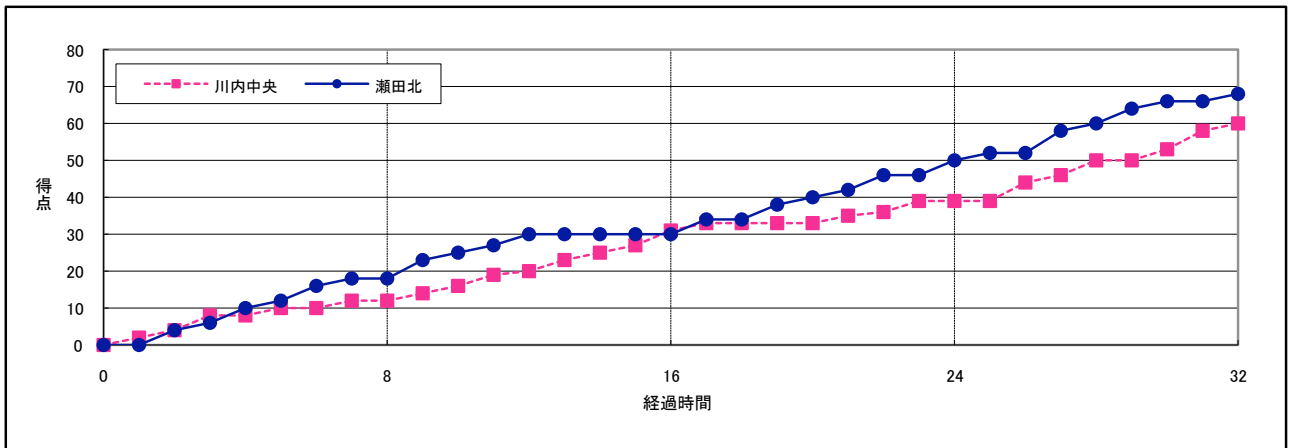


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 男子 Dコート第4試合 予選リーグH																			
日時	8月20日(木)		13:30 ~																	
会場	鹿児島アリーナ																			
結果	川内中央 鹿児島 ●	60	<table border="0"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	1st	18	19	2nd	12	8	3rd	20	21	4th	18		OT		68	瀬田北 滋賀 ○
12	1st	18																		
19	2nd	12																		
8	3rd	20																		
21	4th	18																		
	OT																			
審判	主審 平塚 節		副審 与座 淳																	



【個人トータル表】

×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

川内中央							
No.	選手氏名	P1-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	前田 隆太郎	×	14	1	5	1	2
5	田中 尚樹	×	9	0	4	1	1
6	岩切 洸介	×	14	0	6	2	4
7	吉松 佑樹	×	2	0	1	0	1
8	中間 大幹	×	20	1	8	1	2
9	児玉 真悟	/	1	0	0	1	1
10	押川 拓朗						
11	戸島 健斗						
12	崎山 凌						
13	松田 龍逸						
14	下柊 周平						
15	池満 大雅						
16	松元 竜馬						
17	白川 龍星						
18	黒木 智仁						
監	入江 将紀						
C	迫 智子						
合計			60	2	24	6	11

瀬田北							
No.	選手氏名	P1-in	得点	3 P	2 P	F T	反則
4	木伏 健太	×	14	0	6	2	4
5	服部 晃己	×	25	1	10	2	1
6	大槻 翼	×	16	0	7	2	3
7	中島 健太	×	8	0	3	2	4
8	木部 岳詩	/	0	0	0	0	2
9	内田 弘輝	×	4	0	2	0	3
10	谷河 友也	/	1	0	0	1	0
11	寺坂 清志郎						
12	長崎 敏弥						
13	吉村 祐真						
14	竹林 宥輔						
15	杉立 嵐志						
16	渡辺 大貴						
17	南沢 祐太						
18							
監	草野 礼子						
C	團野 裕和						
合計			68	1	28	9	17

3 P = 3ポイントシュート 2 P = 2ポイントシュート FT = フリースロー

第1P、両チームともディフェンスはマンツーマンでスタート。先制点は川内中央。ハイポストにボールを集め、カットプレーやドライブへの合わせで川内中央4-0瀬田北とリードする。開始2分を過ぎたところで瀬田北がタイムアウトを取り、ゲームを落ち着かせる。これをきっかけに、攻守の切り替えの速さを見た瀬田北が連続して速攻を決め、#8、#6の得点で一気に追いついた。一進一退の攻防が続くが、瀬田北#5のインサイドプレーで川内中央8-10瀬田北と初めてのリードを奪う。素早いヘルプディフェンスの効いた瀬田北が川内中央のオフenseのリズムを止め、川内中央12-18瀬田北で1Pを終える。

第2Pは川内中央がポストの連係プレーで得点しスタート。これに対し瀬田北は#5のインサイドで連続して得点。開始2分過ぎ、川内中央は1-2-2ゾーンプレスを仕掛ける。瀬田北はドライブで応戦し、やはり#5で得点。川内中央も#8のカットイン、#6のインサイドで応戦するも、点を縮められず。残り3分半で川内中央20-30瀬田北となり、川内中央がタイムアウト。その後、川内中央のゾーンプレスが効き始め、バスケを連発。残り3分を切るころには一気に川内中央25-30瀬田北と詰め瀬田北がタイムアウト。それでも流れは変わらず残り1分で、川内中央#4がカットインなどで連続得点し、川内中央31-30瀬田北で前半終了。

第3P、川内中央は1-2-2で瀬田北にプレッシャーを掛けるが、瀬田北が次第にパスで崩し始める。瀬田北#5、#4などの得点で、この4分で川内中央33-40瀬田北とペースを掴む。川内中央は#7を#5にフェイスガードでプレッシャーを掛け、オフenseは#4、#8のカットインプレーから#6、#5などの得点で組み立てる。しかし、相手のゾーンを崩しこのピリオドを川内中央39-50瀬田北で3P終了。

第4Pは川内中央が2-1-2ゾーンプレスも織り交ぜ、#8、#5などで得点。これに瀬田北も#6、#5の得点で一進一退。開始3分過ぎ、川内中央#4の負傷でタイムアウトを取り、今度はオールコートマンツーマンも見せるが、瀬田北は#4などが落ち着いてボールをコントロールし10点前後の点差は変わらない。残り2分で川内中央53-64瀬田北。川内中央は厳しいディフェンスで追い上げ、これを瀬田北は時間いっぱいボールを回してかわしていく。流れは一進一退のまま、川内中央60-68瀬田北で瀬田北が勝利。